

令和6年度 葛飾区 女性のがん検診のご案内(無料)

子宮頸がん検診 20歳から2年に1回、問診・視診・細胞診・内診

「子宮頸がん検診の受け方」は裏面に記載。受診対象の場合に受診票を同封しています。

乳がん検診 40歳から2年に1回、視触診とマンモグラフィ検査の両方受診

「乳がん検診の受け方」をご確認ください。受診対象の場合に、受診票と併せて同封しています。

※ 年齢は、現年度末年齢です

実施医療機関一覧表 (「○」印が実施医療機関です)

実施医療機関	所在地	電話	乳	子宮	生保	予約について	
			視触診	頸			
平成立石ペンギンクリニック	立石5-7-3	03-3693-3131	○	○	○	必要	電話
とおたけ産婦人科	立石6-34-11	03-3691-0858	○	○		必要	HP
東京フェリシアレディースクリニック	立石8-9-6	03-3691-9931	○	○		必要	HP
宮川産婦人科	東四つ木4-49-10	03-3694-1020	○	○	○		不要
佐久間レディース&ファミリアクリニック	堀切2-54-16	03-3691-0371	○	○	○		不要
木下産婦人科医院	東堀切1-15-10	03-3602-7201	○	○			HP
綾瀬産婦人科・産後ケア	小菅4-8-10	03-3838-8151	○	○			電話・HP
亀有みんなのクリニック	亀有2-4-8	03-5650-2821	○	○	○		不要
亀有おおの診療所	亀有2-33-8	03-6662-2655	○	○	○		電話
亀有メディカルクリニック	亀有3-26-1 6F	03-6231-2905	○	○	○	必要	電話
ゆりあファミリークリニック	亀有3-27-27	03-3601-3131	○	○	○	必要	はなしょうぶ
亀有病院	亀有3-36-3	03-3601-0187	○	○	○		不要
東部地域病院	亀有5-14-1	03-5682-5111(代表)	マンモグラフィのみ			必要	はなしょうぶ
亀有公園前診療所	亀有5-34-12 4F	03-3606-2532	○	○	○		電話・HP
マリアレディースクリニック	青戸3-39-9 2F	03-3601-1676	○	○		必要	HP
中村医院	新小岩2-35-4	03-3654-9237	○	○			不要
新小岩北口診療所	西新小岩1-8-4 1F	03-5670-2826	○	○	○		電話
イムス東京葛飾総合病院	西新小岩4-18-1	03-5670-9901	○	○	○	必要	電話
土屋クリニック	高砂8-25-1	03-3607-2203	○	○	○		不要
雨宮医院	柴又1-43-11	03-3600-3511	○	○	○		不要
東京かつしか赤十字母子医療センター	新宿3-7-1	03-5876-3511(代表)	○	○	○	必要	専用アプリ
金町中央病院	金町1-9-1	03-3607-2001	○	○	○	必要	電話
小泉胃腸肛門乳腺クリニック	金町6-4-3 1F	03-3627-1300	○	○	○		電話
増田産婦人科	東金町1-13-5	03-3607-1519	○	○			HP
第一病院	東金町4-2-10	03-3607-0007	○	○	○	必要	電話
小沼医院	東水元2-10-2	03-3607-4008	○	○	○	必要	電話

◆生活保護受給中の方は、「生保」の欄に「○」のある医療機関でご受診ください。

◆子宮頸がん検診と乳がん視触診は実施医療機関へ直接予約(必要な場合)して受診します。

(HP=ホームページ)

◆葛飾区に住民登録のある方が対象です。

医療保険の種類に関わらず受診できますが、お勤め先などで同様の検診を受診する機会のある方は対象外です。

参考

予告なく検診内容等を変更する場合があります。最新の情報は葛飾区ホームページでご確認ください。

葛飾区 がん検診



【担当課】葛飾区健康部(保健所)健康推進課 〒125-0062 青戸 4-15-14 ☎03-3602-1268

子宮頸がん検診の受け方

受診期間 4月1日から
令和7年2月末まで

検診の目的

子宮頸がんは、子宮の入口「頸部」にできるがんで、主に性交渉によるHPV感染が原因です。日本の女性では罹患する人が多く、20歳代後半から増加し、30～50歳代で多くなります。初期の段階では、ほとんどが無症状のため、検診による早期発見が大切です。

不正出血がある場合（月経（生理）以外に出血がある、閉経したのに出血があるなど）や、月経が不規則などの症状がある場合には、子宮頸がん以外の病気の可能性もあるので、検診ではなく、すぐに医療機関を受診してください。

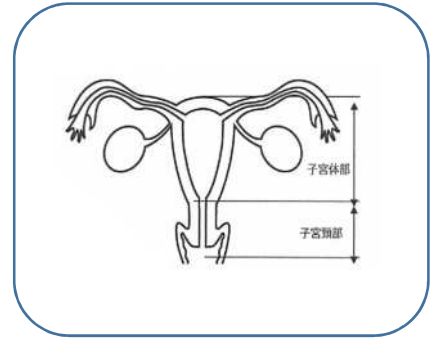
検診内容 問診・視診・細胞診※1・内診

費用 無料

持ち物 (1) 令和6年度子宮頸がん検診受診票（太枠内記入）
(2) 健康保険証（診察券がある方は診察券も）

受診場所 実施医療機関一覧表「子宮頸」に「○」の医療機関

受診時の注意 (1) 生理中および生理直後の数日間を受診しないでください。
(2) 前日に入浴しても膈内は洗わないでください。
(3) 受診の2～3日前から性生活はさけてください。



結果について (1) 検査の結果は約2週間後に、検診医療機関でお伝えします。その際は健康保険証をお持ちください。

(2) 検診の結果、さらに精密な検査が必要な方には、検診医療機関が精密検査実施医療機関をご紹介します。必ず精密検査※2を受けてください（保険診療）。

(3) 精密検査の結果は検診医療機関に報告してください。

その他 検診外の検査は、検診費用（保険診療外）が別途必要となります。

不正出血があったり、ご心配な症状がある場合は、検査担当医にご相談ください。（保険診療）

※1 細胞診による子宮頸がん検診は、子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させる効果があります。

※2 精密検査(子宮)：コルポスコープ下の組織診、HPV検査などを組み合わせたものです。（保険診療）

乳がんになる人は、30歳代から増え、50歳代までの働き盛りの世代に多くみられますが、早期発見・治療により90%以上の人が治るといわれています。

ブレスト・アウェアネス（乳房健康チェック）のすすめ 一乳房を意識して生活する習慣一

乳房の状態に日頃から関心を持つことにより、乳房の変化に気づきやすくなります。

- 1 ご自分の乳房の状態を知る（見て、触って、感じる：乳房チェック）
- 2 早く乳房の変化（しこり、皮膚の凹みや血性の乳頭分泌など）に気づく
- 3 乳房の変化に気づいたら、すぐ医師へ相談する
- 4 40歳からは2年に1度、乳がん検診を受ける

乳房を見て、触って、感じるという気軽な気持ちで生活習慣に取り入れましょう



○がん検診で必ず「がん」を発見できるわけではありません（偽陰性）。また、「がん」がないにもかかわらず検診で「陽性」判定が出る場合もあります（偽陽性）。

○乳がん検診・子宮頸がん検診は、2年に1回、定期的を受診することが大切です。また、具体的な症状が出ている場合は、がん検診ではなく医療機関の診療を受けましょう。

○がん検診の結果が「要精密検査」となった場合は必ず精密検査を受け、結果を検診医療機関にご報告ください。

乳がん検診の受け方

4月1日から
① 視触診 令和7年1月末日まで
 受診場所 実施医療機関一覧表
 「乳」に○の医療機関

乳がん検診は、①視触診を受けて、
 ②マンモグラフィ検査を受けます。
 超音波(エコー)検査は実施していません。

予約が必要です。視触診を受ける前にご予約ください。

② マンモグラフィ検査 視触診後、令和7年3月中旬まで

受診場所 実施医療機関 や 保健所等

予約方法 受診票(バーコード下)に記載の番号で予約

オンライン予約 URL <https://logoform.jp/form/Ehiz/494528>

または、**はなしょうぶコール ☎03-6758-2222**

受付時間 8:00~20:00 年中無休 ※お電話のかけ間違いにご注意ください

予約締切: 検査日の1週間前まで(定員あり)

予約はコチラ



マンモグラフィ検査 実施医療機関

車いすの方や、介助が必要な方の受診にも安心です。
 ※予約時間の15分ほど前に、受付窓口にお越しください。

検診車 (階段あり)

金町保健センター 金町 4-18-19	南綾瀬地区センター 堀切 7-8-22
水元保健センター 東水元 1-7-3	ウェルピアかつしか 堀切 3-34-1
新小岩保健センター 西新小岩 4-33-2	高砂地区センター 高砂 3-1-39

予約時間	東部地域病院 亀有5-14-1		金町中央 病院 金町1-9-1	ゆりあファミリー クリニック 亀有3-27-27		イムス東京葛飾 総合病院 西新小岩4-18-1	
	(月~金)	(土) 第1・第3・第5	(月~土)	(月~水)	(金・土)	(月・水)	(火・木・金)
9:00			○				
9:15			○	○	○		
9:30	○		○	○	○		
10:00	○		○	○	○	○	○
10:30		○	○	○	○		
11:00				○	○		
12:00						○	○
13:30			○	○			
14:00			○	○			○
14:30			○	○			
15:00			○	○			
15:30			○				
16:00			○				○
16:30			○				

東部地域病院
 月・火・水・金
 16:00 追加実施

場所	葛飾区保健所(健康プラザかつしか) 青戸4-15-14 2階 京成線 青砥駅より徒歩約15分 京成バス テクノプラザかつしか下車 都営バス 亀有新道入口下車								金町保健センター	水元保健センター	新小岩保健センター (旧新小岩)	南綾瀬地区センター	ウェルピアかつしか	高砂地区センター	
	土・日の実施日もあります														
時間	午前9時15分、9時30分、10時、10時30分、11時、11時20分 午後1時30分、2時、2時30分、3時、3時30分、4時								午前9時、9時30分、10時、10時30分、11時 午後1時30分、2時、2時30分、3時、3時30分						
4月	25 (木)	30 (火)													
5月	9 (木)	13 (月)	16 (木)	21 (火)	29 (水)										
6月	7 (金)	10 (月)	18 (火)	20 (木)	22 (土)	24 (月)	30 (日)				3 (月)	13 (木)			
7月	2 (火)	4 (木)	8 (月)	11 (木)	17 (水)	20 (土)	25 (木)			17 (水)	4 (木)				22 (月)
8月	4 (日)	6 (火)	8 (木)	21 (水)	29 (木)						7 (水)				
9月	1 (日)	3 (火)	5 (木)	7 (土)	9 (月)	12 (木)	18 (水)	19 (木)	26 (木)	12 (木)	5 (木)				
10月	1 (火)	3 (木)	5 (土)	7 (月)	10 (木)	16 (水)	20 (日)	24 (木)	31 (木)	7 (月)	21 (月)	17 (木)			
11月	7 (木)	10 (日)	14 (木)	16 (土)	19 (火)	21 (木)	27 (水)	29 (金)		7 (木)	13 (水)				21 (木)
12月	1 (日)	4 (水)	5 (木)	10 (火)	12 (木)	14 (土)	16 (月)	19 (木)	26 (木)		18 (水)		5 (木)		
1月	9 (木)	14 (火)	18 (土)	23 (木)	27 (月)	29 (水)	31 (金)			7 (火)	20 (月)				
2月	1 (土)	5 (水)	6 (木)	15 (土)	17 (月)	20 (木)	25 (火)	27 (木)		21 (金)	5 (水)				19 (水)
3月	1 (土)	3 (月)	4 (火)	6 (木)	10 (月)	15 (土)									

※葛飾区保健所と新小岩保健センターは駐車場が利用できます。(新小岩保健センター駐車場は有料です)

※検診についてのお問い合わせは、健康推進課(☎03-3602-1268)へお願いいたします。

③ 検査結果

マンモグラフィ検査の1か月半程後、ご自宅へ郵送します

検査結果が「要精密検査」の方には、視触診実施医療機関から説明があります。

必ず精密検査(※3)を受け、結果を視触診実施医療機関にご報告ください。



※3精密検査(乳)：マンモグラフィ検査の追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等。(保険診療)

乳がん検診の持ち物

令和6年度
・乳がん検診受診票 と 医療機関では
・健康保険証 (診察券がある方は診察券も)

* 検診は無料ですが、医療機関で実施する追加の検査などは負担金が発生する場合があります

マンモグラフィ検査の受診には、視触診の結果が記載された受診票が必要です。
受診票を紛失されたときは、視触診実施医療機関にご相談ください。

乳がん検診の対象は、乳がんになる人が増える世代の40歳から

女性が一生の間に乳がんになる確率は9人に1人と、女性のかかるがんで1番多く、40歳からは気になる症状がなくても2年に1回、乳がん検診を定期的に受けることが大切です。

視触診後には、マンモグラフィ検査を受けることで、初期のがん(小さいしこりや石灰化)を見つけることができます。乳房を片方ずつプラスチックの板で挟んで撮影するため、圧迫による痛みを感じることもありますが、圧迫時間は数十秒ほどです。また、放射線被曝による健康被害はほとんどありません。乳腺の柔らかい状態の月経終了後1週間ぐらいの受診をお勧めします。

◆ 次のチェック項目で のつく方は 葛飾区乳がん検診は受けられません。

- 区外に転出した → 転出先の市区町村にご相談ください。
- 他に受診機会がある → すでにお勧め先などで受診している場合、過度に受診することは結果的に不必要な検査や治療を招くなど、検診のメリットよりデメリットが上回る可能性があります。
- 自覚症状がある(乳房のしこり・乳頭からの出血など) → すぐに医療機関をご受診ください。
- 乳房の疾患で治療中・経過観察中である → かかりつけの医療機関にご相談ください。
- 妊娠中または妊娠の可能性がある → エックス線検査のため、受診をお控えください。
- 授乳中である → 授乳中は乳腺が発達しており、病変との区別がつきにくいいため、断乳後6か月経過後にご受診ください。
- 乳房付近にシャント(V-P シャント、A-P シャント等)やポートを挿入している → 圧迫により破損の危険性があるため、かかりつけの医療機関にご相談ください。
- 植込み型の心臓ペースメーカーや、除細動器等を乳房付近に挿入している → 微弱な電圧により誤動作の危険があるため、かかりつけの医療機関にご相談ください。
- 豊胸手術を受けている(シリコンパック・生理食塩水パック、脂肪注入・ヒアルロン酸注入など)
→ 胸の中に入れたものが破損する危険性がある他、内容物等で乳腺が隔れて写らない場合は判定困難となります。豊胸手術を受けた方については、手術を実施した医療機関へご相談ください。

* 乳がん検診を受診される方へ *

- 発熱や風邪の症状がみられるなど、普段とは違うと感じられる方は無理をせず、受診を控えましょう。
(発熱などの体調不良が確認された場合、受診をお断りさせていただく場合がございます。)
- 施設内でのマスクの着用にご協力ください。
- マンモグラフィ検査はエックス線検査のため、ご本人以外は検査室に立ち入りできません。
(お子さんのお預かりはできません。)
- 車いすの方など、介助が必要な方のマンモグラフィ検査は、医療機関での受診が安心です。
(検診車は階段を使用します。保健所では介助ができません。)
- **予約時間を過ぎた場合は受診できません。キャンセル扱いとなりますのでご注意ください。**